インベントリー

飼育昆虫・ダニ類データベース

Database of Insects and Mites Maintained in Entomology Laboratories of Japan

望月　淳・望月雅俊・屋良佳緒利*

Atsushi Mochizuki, Masatoshi Mochizuki and Kaori Yara

背景と目的

昆虫・ダニ類の飼育は，昆虫学の基礎・応用分野において不可欠のものである。現在，国公立，民間の関係機関では，各種の昆虫・ダニ類が，それぞれ独自の方法で飼育され，研究等に供されている。昭和 61 年，農業環境技術研究所において当時の環境生物部・昆虫管理科が中心となって「全国の試験研究機関で飼育されている昆虫・ダニ類」（農環研資料第 1 号）を作成し，配布した。この資料は，非常に有益なものであり，多くの研究者が利用していた。しかし，その後，内容が更新されることなく，15 年以上が経過した。その間，組織改変や人事異動等により，飼育されている昆虫・ダニ類の種類や担当組織が，大きく変化した。そこで，新たに日本全国の試験研究機関，民間企業等で飼育されている昆虫・ダニ類を対象に新たにデータベースを作成し，研究情報の交換，飼育昆虫の譲渡・交換等に役立つものとしたいと考えた。また，頻繁に更新を行えるよう，インターネット公開型とした。初年度は農林水産試験研究独立行政法人で飼育されている昆虫・ダニ類を対象として，データを収集し，公表した。

内容と特徴

初期画面で全件を一覧できる（図 1)。表示項目は，目名，学名，種類（和名），具体的な餌，飼育規模，飼育期間，所属，住所，分譲の可否，備考である。さらに，検索エンジンを設けて，昆虫・ダニ類の目名，種名（学名，和名），飼育場所（所属）でそれぞれ検索ができるようになっている。目名は，プルダウンメニュー形式で選択できる。種名は和名（カタカナ）と学名で検索可能である。連続した部分文字列でも検索でき，例えば「カメムシ」と入力すれば，カメムシという文字を含む種類がリストアップされる（図 2)。ただし，和名の付いていない種類もあるので注意を要する。これを補うために学名による検索項目をもうけた。これも部分文字列でも検索可能で，大文字と小文字の区別やイタリック指定などは関係ないが，半角での入力が必要である。さらにこれらの検索項目とは別に，目名，種名，所属名それぞれについて，昇順・降順の並べ替え機能も付与してある。これらの機能を各種組み合わせて使えば，目的の昆虫・ダニ類の所在情報に容易にたどり着ける。

使用上の注意事項

飼育昆虫・ダニ類データベースの URL は，http://www.niaes-nris.agropedia.affrc.go.jp/NIAES-NRIS

* 生物環境安全部　昆虫研究グループ　導入昆虫影響ユニット

Introduced Insect Assessment Unit, Entomology Group, Department of Biological Safety

インベントリー，第 2 号，p.33-34 (2003)

/search/insect/mainBrd.php である。インターネット上での公開であるため，セキュリティー上の問題で，所在情報には飼育研究室名とその住所だけを掲げ，電話やＦＡＸ，E-mail アドレスなどは公表していない。

個々の飼育昆虫については，その昆虫の飼育担当研究室に直接，書面で連絡を取っていただきたい。今回公表するデータベースは 2001 年 9 月現在のものであり（全 194 件），その後飼育担当者の異動等で内容も変化していることも考えられので，更新を行うとともに大学や都道府県の試験研究機関のデータも収集する予定である。

図１　初期画面

図２　種類（和名）での検索結果

問合せ先

農業環境技術研究所　環境生物安全部　昆虫研究グループ　導入昆虫影響ユニット　望月　淳
電話：029-838-8252，FAX：029-838-8199，E-mail：lepi@affrc.go.jp